北海道医療センターニュース

2017年7月発行

山の手だより





20号目次

まいにちから、 まんいちまで。

巻頭言「ごあいさつ」				特命副院長	中村	一美	 2 P
				動画配信中のお知らせ			 21
がん患者サロン	ポレ*ポレのご紹介			がん相談支援室	笹川	恭子	 31
部門のご紹介	放	射	線	診療放射線技師長	盛	洋 一	 41
	リハビリテーション			理学療法士長	佐伯	一成	 51
インフォメーション				診療科のご案内			 51
美味しい夏野菜	;			栄養管理室	前川	千紘	 6]
第17期生	入	学	大	教育主事	坂本	美和子	 71
イン	フォメー	ション		ボランティア募集のお知らせ	ŀ		 71
イベント	きいき	三角山フ	ェスタ筌	:内			 81

巻 頭 言



ご あ い さ つ 選 ば れ る 病 院 づ くり を 。



特命副院長中村 一美

新年度がスタートし、早いものでニヶ月が過ぎました。

昨年4月より看護部長として勤務しておりましたが、本年4月より特命副院長の任を命ぜられ就任いたしました。

当院は、3次救命救急の超急性期から慢性期まで29診療科で診療を行っております。病床数は500床で約400名の看護師が日々のケアにあたっているところです。また、スペシャリストとして11名の認定看護師と2名の診療看護師が医師を中心とした医療チームの一員としてケアにあたり、看護の質やチームカの向上を牽引しています。

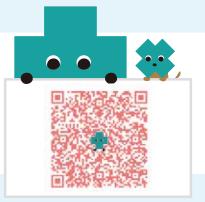
当院は、地域医療支援病院として、地域のかかりつけ医や介護、福祉施設との連携強化が求められています。入院した患者さんやご家族が安心・納得して、住み慣れた地域で療養や生活が継続できるように、退院や転院調整・支援を専門に行う看護師が配置されています。患者さんやご家族とともに、地域の訪問看護師やソーシャルワーカー、ケアマネージャーと話し合い、退院後の生活も視野に入れた他職種による関わりに取り組んでいます。

昨年より、急性期の治療が終了し、退院後も困らないように在宅に向けてリハビリを中心としたケアが受けられる地域包括ケア病棟を開設しました。病院という治療の場から生活の場へ移行した患者さんの不安を少しでも緩和できるように看護師の退院前・退院後訪問も積極的に実施しているところです。

今後、当院は平成32年度を目途に八雲病院が機能移転し北海道医療センターと一つの病院となり運営していく予定です。地域の急性期医療のニーズに応える一方、29診療科の医療を提供しつつ、八雲病院の機能が加わることで筋ジストロフィーや重症心身障害児(者)の専門分野の診療も担って行くことになります。

患者さん、ご家族そして地域の介護施設や医療機関に信頼され、地域の皆様に選んでいただける病院づくりをしていきたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



特命副院長ご挨拶動画配信中

こちらのQRコードを読み込んで

動画をご覧いただけます。



がん患者サロン



がん相談支援室がん相談支援員 笹川 恭子

北海道医療センターは北海道がん診療連携指定病院として様々な活動を行っています。その活動の一つにがん患者サロンがあります。

がん患者サロンとは患者さんやそのご家族等、同じ立場の人が、がんの事を気軽に本音で語り合う交流の場の事です。同じ経験を持つ患者さん・ご家族の話を聞く事で、気持ちが軽くなったり療養生活を快適に送る知恵を得られることがあります。

当院でも毎月第2水曜日13:30~15:00より 5階第2会議室にて「がん患者サロンポレ*ポレ」を開催しています。

様々な話題のミニレクチャーや、笑いヨガ、コラージュ療法(アートセラピー)等を行いながら集まった人たちと会話を楽しんでいます。参加者さんからは「ここに来て気持ちが楽になった」、「家に一人で居ると考えて落ち込んでしまうけどいろんな人と話せて楽しかった」等の声が聞かれています。







ポレ*ポレとはスワヒリ語で「ゆっくり」「のんびり」という意味です。 患者さんご家族にとって「ゆっくり」「のんびり」リラックスできるような 場所になったらという願いを込めて開催しています。

お時間のある時にぜひ一度お立ち寄りください、お待しています。

毎月第2水曜日

13:30~15:00

当院第2会議室



北海道医療センター

診療放射線技師長 盛 洋-

部門の紹介 CT検査とMRI検査のご紹介

放射線部門では各種画像検査を行い、機器の点検 や撮影プロトコルの検討を重ね、患者様に安全で質 の高い医療を提供することを心がけています。

今回はCT検査とMRI検査をご紹介いたします。



CT検査

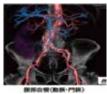
CTは、身体の中の様子を輪切りにした画像を映し出す検査です。脳出血などの頭部疾患から呼吸器疾患 ・腹部消化器疾患・婦人科疾患・心臓や大血管等の循環器疾患、外傷性救命救急など、頭から足先までの 撮影が行われています。

専用の画像処理コンピューターにより、横断面(輪切り)だけではなく様々な方向の三次元画像が作成さ れ活用されています。









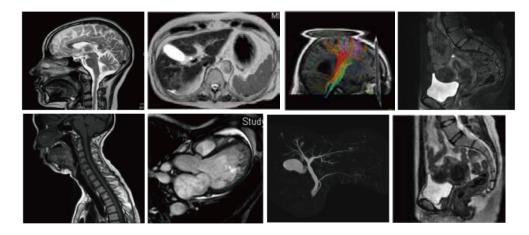




原因をいち早く発見

MRI検査

MRI検査とは、X線撮影やCT検査のようにX線を使うことなく、磁石と電磁波を使って人体のあらゆる 断面を撮影する検査です、撮像時間(検査時間)が長く、またペースメーカーや体内金属のある方には検 査できない、閉所恐怖症の方は検査できない、検査時中の音がうるさい等の欠点もあります。 検査時間はおおよそ、頭部の場合約30分~40分、腹部・四肢の検査は約40~60分程度かかります。



放射線科は放射線技師17 名で24時間365日救急 医療に携わっております。 今後とも患者様が安心し て検査を受けられるよう 日々研鑽して質の高い画 像診断の提供に努めてま いります。

リハビリテーション

理学療法士長 佐伯 一成

理学療法 作業療法 言語聴覚療法 三つの特徴

リハビリテーション科では病気や怪我で低下した身体機能に対して、医師から リハビリの指示が出された入院の患者様に対して各専門分野のスタッフがその 知識、技術を駆使して日頃の治療訓練を提供しております。

理学療法

下肢の障害に対して筋力をつけ、関節を曲がりやすくして立ったり歩いたりする能力を改善したりします。そのほかに肺や心臓の機能低下にも対応しております。



物を摘まんだり掴んだりする手の機能を改善することによって日常生活動作(皆さんが普段やられている調理や洗濯、掃除といった動作)が出来るようにしたり、動作がしやすくなるように訓練・指導を行っております。



言語聴覚療法

言葉が出づらくなったり話しづらくなった方への訓練・指導を行います。また飲食の際にむせが見られる場合には飲み込みの指導も行っております。最近よく耳にする"誤嚥性肺炎"(ごえんせいはいえん)にも関わっております。

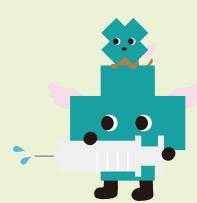


リハビリテーション科では、一日でも早く職場復帰、家庭復帰が出来るように誠心誠意を込めて日々の治療訓練を行っております。

診療科

INFOMATION







日増しに暑くなってきましたね。夏の暑さで食欲も減退し、冷たいものばかりや偏った食 生活を送ってはいませんか?旬である夏野菜は美味しさだけでなく栄養もたっぷり含ま れています。

今回は夏野菜について、いくつかご紹介いたします。

にがうり (ゴーヤ)

ゴーヤに含まれる苦み成分には、胃液の分泌を促し食欲を増進させるほか 肝機能 を高め血糖値降下の効果があるといわれています。

ビタミンC、カリウム、カルシウム、マグネシウムなどのビタミン、ミネラル類が豊富に 含まれており栄養価が高いので、夏バテ予防にはうってつけな野菜です。

加熱しても壊れにくいビタミンCが含まれているところも魅力的ですね。

ビタミンCはシミやソバカスの元となるメラニン色素の生成を予防する効果もある ので夏の紫外線対策としても強い味方です。

トマトはビタミンC、カロテン、リコピンなど、栄養価が高いことは有名ですがグルタ ミン酸といったうまみ成分も野菜の中<mark>ではト</mark>ップクラスです。

加熱することで甘みやうま味が増幅することから、豆や肉、魚などと一緒に煮込み料 理などに使用することもお勧めです。

カロテンは、肌や粘膜、目を丈夫にし免疫力を高める効果があります。

また、油に溶けやすい性質をもつので加熱することで吸収率も3~4倍アップします。

オクラの独特な粘りの成分は、水溶性食物繊維のペクチンと複合たんぱく質のムチ ンです。ペクチンには血中コレステロールを減らし、血圧を下げる効果があります。 ムチンには胃粘膜の保護、タンパク質の消化促進、整腸といった働きがあります。

今月のおいしい recipe

夏野菜を使った簡単レシピ ~オクラの梅和え~

材料 (1人分)

オクラ 40g 梅 3g 薄口醤油 1 g 大葉 1枚

- ①オクラは茹でて斜めに切ります。大葉は千切りにします。
- ②梅は種を取り、細かくたたいておきます。
- ③ ①と②の材料と薄口醤油を合わせ、盛り付けて完成です。

梅干しに含まれるクエン酸には、疲労回復の効果があると言われていますので、夏の疲れた体にもぴ ったりです。また、大葉を加えているので爽やかな風味が感じられると共に、食欲増進にも繋がります。 食欲が低下気味の暑い日でも食べやすいようにさっぱりとした味付けになるよう工夫しました。 とても簡単に作ることが出来ますので、夏の献立に取り入れてみてはいかがでしょうか?





北海道医療センター附属札幌看護学校

17期生 入学式

教育主事 坂本 美和子

うららかな春の訪れを感じはじめた4月10日、来賓、病院関係者、保護者の皆さまの御臨席の中17期生80名の入学式が執り行なわれました。

菊地学校長からの式辞では、北海道医療センターの紹介があり、次に本校の入学試験は、東日本にある国立病院機構の附属看護学校共通の一斉入学試験であり、例年同様、他の附属看護学校と比較してもトップクラスの高得点であったこと、新入生の皆さんはそれだけ大変な難関をくぐってきたことに誇りを持ち、勉学に励んでほしいこと、また、本校の目指すところであるProfes‐sionalな看護師について、専門職を特徴づける3つの柱である専門性、公益性、道徳性について話されました。

中村特命副院長兼看護部長からは、看護という専門分野におけるエキスパートを目指し、未来に向けて努力してくださいと力強いエールをいただきました。

新入生代表の齋藤佳月さんからは、仲間と共に助け励まし合いながら、命を預かる職業を志す自覚を持ち、倫理観を備えた看護師を目指していきたいと誓いの言葉がありました。

今日この日の気持ちを忘れず、希望にあふれた輝くような表情を3年間持ち続け、自分たちの目指す看護師になるという目標が達成されますよう、看護学校職員一同支援していきたいと思います。



 ∞

三角山フェスタ

(生)

第5回いきいき三角山フェスタが開催決定! 例年調剤体験や縫合手技・気管挿管体験など 人気企画が今年も盛りだくさん!







まいにちから、 まんいちまで。



独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センタ・



TEL 011-611-8111



〒063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1番1号



http://www.hosp.go.jp/~hokkaidomc/

北海道医療センター

